

スポーツで健康づくり!!! 歩いて健康づくり!!! 歌って健康づくり!!!

裏山登山基盤整備活動 推進会議「事業計画書」

一 事業の趣旨

逆瀬台小学校区は、全く人工的に創出されたニュータウンから成っていて、その光ガ丘・青葉台・逆瀬台・ゆずり葉の街のすぐ裏は山である。この「裏山」こそ、わが逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」の宝であると言っても過言ではない。本会議は、この「裏山」の自然を保全して行くと共に、同時に住民の健康づくりを指す「健康ハイキング」のフィールドとして、「裏山登山」の基盤を整備して行くことが必要であると考える。

二 事業の区域

本会議は、「裏山登山」の基盤を整備して行くフィールドとして、逆瀬台小学校区の裏山区域を次のように区分する。

(1) 中部地区 逆瀬台小学校区の裏山の中央・中心となる、青葉台・逆瀬台両ニュータウンの後背地で、行者山東観峰を登頂中心点として東西南北に広がる尾根筋・谷筋から成るフィールドである。この整備基盤を「行者山ハイキングコース」と称し、また「ゆずり葉散策路」は本地区に含む。

(2) 北部地区 光ガ丘ニュータウンの後背地で、東六甲縦走路の岩倉山以

東の南北市域に広がる尾根筋・谷筋から成るフィールドである。

(3) 西部地区 ゆずり葉台ニュータウンの後背地で、東六甲縦走路の岩倉山以西の南北市域に広がる尾根筋・谷筋から成るフィールドである。

(4) 南部地区 逆瀬川本流を挟んでゆずり葉台ニュータウンに相對峙している、檜ヶ峰山群の東西南北に広がる尾根筋・谷筋から成るフィールドで、その南側は西宮市域に入る。

(5) 逆瀬川本流地区 逆瀬川は我が国砂防事業発祥の地であり、従来からキャンピング・サイトとして活用されて来たフィールドである。ここには、大規模公園開発問題を契機に社会福祉法人聖隷福祉事業団が買収した広大な未利用地があつて、古くからの慣行山道の件を含めて、左右両岸域の整備を検討して行く必要がある。

(6) 逆瀬川源流地区 逆瀬川を遡って行き、県道以西から大平山直下に至る逆瀬川源流は、宝塚市域ではないものの逆瀬川を通じて本校区の裏山に繋がっているフィールドとして、無視できないと考えている。

三 事業の項目
既に、平成17年度兵庫県地域団体活動支援（パワーアップ）事業の初指定を受けて中部地区の「行者山ハイキングコース」について、また平成18年度宝塚市スローライフ事業の指定を受けて「ゆずり葉散策路」について、共に基盤整備活動を開始して現在まで続けている。今後他地区にも拡げて、次のような基盤整備活動を行いたい。

(1) コースの整備 現地踏査を行って新しいハイキングコースを開拓すると共に、そのコース標識を整備する。また既設のコース標識の維持・修理・修復を進める。

(2) ルートの整備 各ハイキングコースについてルートの草刈り・ステツプ作り・ロープ配置等の整備を行う。更に新しいルートを開拓すると共に、そのルート標識を整備する。また既設のルート標識の維持・修理・修復を進める。

(3) マップ・ブックレットの製作 各ハイキングコース・ルートについて、ガイド・マップやガイド・ブックレ

ットを製作する。

(4) ネーミングの促進 無名峰や尾根筋・谷筋等についてもネーミングを進めて、情報共有化の手段とする。既に、「行者山東観峰」と「ゆずり葉ピーク」の二つについては、命名後相当な年月が経過して、地元では広く使用されると共に、関係官公庁においても活用され始めている。今後、国土地理院発行の地形図や宝塚市発行の都市計画基本図を始め、昭文社等発行の市販地図にも、その記名登載を強力に働き掛けて行く。

以上
体力に自信の無い方も有る方も、皆がそれぞれできることをやれば、裏山登山の基盤整備も少しずつ進むはずだ。

【興味と関心をお持ちの方は、73-3114 國司恒雄へ連絡を】



せいい逆瀬台テニサービスセンター2階 多目的ホールで、「コスモス・ピンポン・クラブ」と「カラオケサロン」をやっています。

毎週水曜日午前10時から12時まで「コスモス・ピンポン・クラブ」が、44ミリメートルのラージボールでピンポンをやっています。それほど難しくはないので、ぜひお気軽にお立ち寄り下さいませ。

同じ日の午後13時から「ゆずり葉カラオケサロン」が開かれています。カラオケの練習にはもってこいだと、まだ歌うことに自信の無い方でも遠慮無く練習できると評判です。いずれも無料です。事前の申し込みは不要ですから、時間が空いたなどと思われたらぜひ御来場下さいませ。

【世話人・國司恒雄 TEL/FAX 73-3114】

行者山東観峰登頂記念箱 再設置工事完了



私家版「海軍航空隊の思い出」

本紙春55号第3面で紹介した「私のホームページ」をシリーズ化したと考えていますが、未だ名乗り出て来られる人が現れない。そこで「マイ・サイト My Site」と並んで、今号から「マイ・ブック My Book」をシリーズ化しようと思います。逆瀬台小学校区の住民の中には、自費出版で本を上梓されている方もあれば、また純粋に私家版を作って配られている方もおられるでしょう。このような著作・労作を本欄で紹介して、関心・興味をお持ちの方々に読んで貰いたいと考えています。

前号本欄で参加者を募ったところ、一番に光ガ丘の関将盛さんから電話をいただき、結局同じ光ガ丘の古泉義太郎さん、青葉台の小比賀秀斌さん・田辺保さん・赤坂タツエさん、逆瀬台の平山元哉さんと洋子夫人・橋尾正義さん・加藤忠厚さん・安本毅さんと、コミュニティの中村一雄会長と私を加えた12人で、7月18日（土曜日）午後3時にハイキングコース光ガ丘口に集合、皆で資器材を背負ったり、手に提げたりしながら、行者山東観峰を目指して登った。以前「登山記録箱」があつた同じ場所に、「登頂記念箱」の再設置工事を無事完了、以後の活用と無事を祈り、記念写真を撮って下山した。（本会事務局長・逆瀬台小学校区 裏山登山基盤整備活動推進会議 世話人國司恒雄 TEL/FAX73-3114）

第2回逆瀬台小学校区卓球交流大会

昨年引き続き、光ガ丘卓球クラブとゆずり葉卓球教室A・Bの3チーム（1チーム8名ずつ計24名）によってダブルスのリーグ戦型式で、8月22日（土曜日）9時から逆瀬台小学校体育館において行われた。ゆずり葉Aチームが優勝し、昨年優勝の光ガ丘チームは準優勝、ゆずり葉Bチームが3位であった。



逆瀬台5丁目にお住まいの樺島省吾さんは、福岡県大牟田市の生まれで、長崎高等商業学校に入学した1941年に太平洋戦争が勃発、1943年繰り上げ卒業と共に海軍飛行予備学生として学徒出陣された。それから1945年の敗戦までの2年間、鈴鹿市にあつた三重海軍航空隊、福岡市海の中道の先にあつた博多海軍航空隊、香川県西端にあつた詫間海軍航空隊、長崎県の諫早海軍航空隊と、相次ぐ猛訓練を経て海軍特別攻撃隊へ志願、鹿児島県大隈半島の鹿屋海軍航空隊へ進出したところで敗戦を迎え、まさに「九死に一生」の思いをされました。以後65年の間平和の有り難さ・尊さを痛感され、この度「戦争をしてはいかん」と自らの体験を綴って私家版「海軍航空隊の思い出」を製作されました。読んでみたいと思われる方は、

ゆずり葉ミニライブラリー
世話人國司恒雄 TEL/FAX73-3114